



© Miki Tokairin



第233回 FASID BBLセミナー

開発課題におけるパートナーシップの構築にむけて
～第1回SDGsアワード受賞国際協力NGOからの発信～

TICADに向けたNGOの発信

2019年2月7日（木）



市民ネットワーク for TICAD

市民ネットワーク for TICAD (Afri-Can)

【ミッション】

『私たちは、TICAD が真にアフリカの市民に役立つものとなることをめざします』

【活動】

1. TICADに向けた政策提言
2. 多様なアクターのTICAD参加を促進するための啓発活動、ネットワーク活動
3. 多様なアフリカの文化や現状、本ネットワークの活動を周知するためのイベント開催・広報活動
4. 上記の活動に必要な計画立案/評価、渉外活動、資金調達

【加盟】 約30団体

【設立】 2014年

【事務局】 (特活)アフリカ日本協議会





CIVIC COMMISSION
FOR AFRICA (CCfA)

CCfA (Civic Commission for Africa)

【活動】

- Afri-Canと連携して活動する、アフリカの市民社会ネットワーク
- TICADにフォーカスしたアフリカ開発のアドボカシーを実施
(例:TICAD本体会合や閣僚会合のアドボカシー)
- 来日時のイベントやメディアインタビュー

【設立】 2007年

【理事】 全5地域から選出

代表:

マウンゴ・ムーキ(ボツワナ)

副代表:

ウィリブロード・ゼ ゝングワ(カメルーン)

ムンタガ・トゥーレ(マリ)



UHC in Africa

csem
Civil Society Engagement Mechanism for UHC2030

【概要】

アフリカ各国がUHC達成に向け具体的な国家戦略を策定する際に参考となるフレームワーク。2016年に世界銀行、WHO、グローバルファンド、アフリカ開発銀行、日本政府が共同発表。

【フレームワーク】

1. 財政(Finance): 効果的、経済的な保健財政
2. サービス(Service): 人間中心、質の高い、多セクターによるサービス
3. 公正性(Equity): 貧困層、財弱層「NOLB」
4. 事前準備 (Preparedness): 公衆衛生危機の対応強化
5. ガバナンス(Governance): UHCアジェンダに資する政策・制度構築



【NGOの取り組み】 UHC2030の市民社会参画メカニズムを通じたアドボカシー

